

チームの連携プレー！地下水調査に密着！

2021 年 4 月 21 日（水）、今年度最初の地下水定期調査を実施しました。今回は北里大学との合同調査ということもあり、計 16 名の大所帯で各ポイントを回りました。八重瀬町を含む広域の水循環を把握するために、慶座地下ダムエリア（八重瀬町）と米須地下ダムエリア（糸満市）を対象にして、各地点の水質や流量、地表、地下からの水の流動経路を調べています。

沖縄本島南部地域には、地下水用の観測井戸があります。八重瀬町の農業用水は地下水を利用しているため、水量を管理するために設置されたものです。



こちらの場所は米須エリアです。サトウキビ畑のわきに、小さな穴が開いていました。これが観測井戸です。

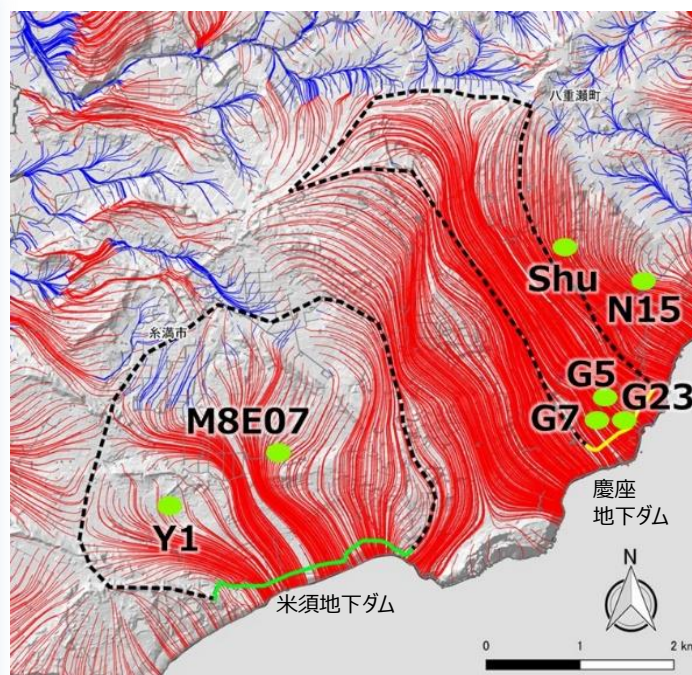


図1 定期地下水調査の観測地点



まずは水位計をおろして地下水面がどこまでできているかを測ります。降雨量によっても左右されます。現場にたまたまいらっしゃった農家さんによると、台風や豪雨の時にはあたり一帯が浸水してしまうそうです。



1861 年～1863 年、首里王府の監督下で、慶座井（ギーザガー）の建設が行われましたが、結局水脈を掘り当てることができなかったそうです。現在は慶座地下ダムの支流から慶座パンタに地下水が流れ込んでいます。

次に電動ポンプで地下水をくみ上げ、水温や pH を測ります。研究室所属の学生や研究員の皆さんが、それぞれの役割でテキパキと作業を進めていきます。研究室に持ち帰ったサンプルは、水質や微生物について調べます。



摩文仁浄水場での取水作業に、文科省スーパーサイエンスハイスクール指定校の向陽高校の生徒さんが見学に来ていました。地元の水環境のほか、新聞などで取り上げられている赤土流出問題にも関心があるそうです。



そもそも SDGs ってなに？このプロジェクトはどう貢献するの？

世界のリーダーが 2015 年 9 月の歴史的な国連サミットで採択した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた 17 の「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、2016 年 1 月 1 日に正式に発効しました。貧しい国も、豊かな国も、中所得国も、すべての国々に対して、豊かさを追求しながら、地球を守ることを呼びかけています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための 17 の目標



そして、貧困に終止符を打つため、経済成長を促し、教育、健康、社会的保護、雇用機会を含む幅広い社会的ニーズを充足しながら、気候変動と環境保護に取り組む戦略も必要であることを認識しています。この八重瀬町・琉球大学 SOLVE for SDGs プロジェクトでは、17 の目標のうち以下の三つを優先し、八重瀬町の水資源の健全な持続的活用に向けた課題に取り組んでいます。



目標 6

すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



目標 14

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



目標 17

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

八重瀬町の水資源を持続的に活用していくにはどうすればいいの？

八重瀬町の具志頭地区では、古くから地下水が水道水源として利用されてきました。1990 年代末に農業用水の確保のため地下ダム（ダム）の築造が計画され、完成した現在では、南部水道企業団の管理する取水井戸からくみ上げた地下水を北部ダムの水に 1/4 混ぜて、各家庭に配給しています。くわえて、八重瀬町の基幹産業である農業でも地下水が利用されています。地下水の水質を良好に保ちながら飲料水や農業用水として地下水を持続的に利用していくためには、家庭から各産業まで八重瀬町の住民が課題を共有しながら話し合っていく必要があります。このプロジェクトでは、八重瀬町の皆様の課題共有のプロセスに寄り添い、支援します。



SOLVE プロジェクト 八重瀬町の協働実施者 紹介

八重瀬町役場 経済建設部 土木建設課
金城 盛勝（きんじょう せいかつ）課長

SOLVE プロジェクトでは、八重瀬町と琉球大学それぞれの代表者がペアとなって地域の課題解決に取り組めます。八重瀬町の協働実施者は、金城進経済建設部長の定年退職に伴い、令和 3 年度から土木建設課長の金城盛勝氏が着任しました。



琉球大学 SOLVE プロジェクト代表者
安元純助教（農学部）との打合せ (R3.04.30)



八重瀬岳から眺める八重瀬町

プロジェクトに関するお問い合わせ、ご意見・ご感想は、下記までお寄せください。

【発行】八重瀬町・琉球大学 JST SOLVE for SDGs プロジェクト事務局
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原 1
琉球大学亜熱帯島嶼科学拠点研究棟 担当：安元
Tel: 098-895-9131（平日 13:00-16:00/ 会議やイベント等で離席することもあります。ご了承ください。）
Email: solveforsdgs@gmail.com
ホームページ：http://mizunowa.skr.u-ryukyu.ac.jp/